

令和6年度 施設分析シート

Ⅰ施設の概要			施設コード		S10-04-01	
施設名		荒川遊園				
所在地		西尾久六丁目35番11号				
部課名		子ども家庭部荒川遊園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	平成3年	5,052,575	—	—	—
	増改築①	平成6年	2,913,788	—	—	—
	増改築②	令和4年	4,398,862	—	—	—
併設施設						
竣工年月日		—		区職員	その他	
供用開始年月日		—		職員数	15人	委託業者
構造		—		階層	—	
面積	敷地面積		54,416			
	延床面積		—			
設置目的・経緯		都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指すとともに子育て支援の拠点施設とする				
関連部署		—				
根拠法令等 設置条例		都市公園法、荒川区立公園条例及び同条例施行規則				
駐車場の状況		114台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		約100台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	直営	—		期間	— —	から まで
事業内容	総面積54,416㎡(A地区(有料地区):31,466㎡、B地区(子どもプール<5年度で廃止>):5,234㎡、C地区(地下駐車場):14,141㎡、D地区(荒川遊園拡張地):3,575㎡) ①あらかわ遊園の管理運営(大型遊戯施設、小型遊具、ふわふわドーム、わくわくハウス(わくわくパーク・売店)、もぐもぐハウス(売店)、一球さん号(売店)、動物広場等②都市公園維持管理等					
対象者	—					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時(夜間開園時は午前9時～午後8時)				
	休日	火曜日(火曜日が祝日の場合にはその翌日)				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	入園者数(人)	—	—	385,937	403,956	500,000
	子どもプール(人)	—	—	14,405	22,950	—
	地下駐車場(台)	13,723	15,257	36,253	38,501	37,652
	大型遊戯施設利用者数(人)	—	—	1,501,965	1,576,071	1,539,500
	入園料収入(千円)	—	—	70,178	72,306	61,783
	乗物券、小型遊具等収入(千円)	—	—	74,055	70,922	149,652
	フリーパス収入(千円)	—	—	247,116	247,026	352,814
	子どもプール収入(千円)	—	—	3,460	5,494	—
	地下駐車場収入(千円)	5,320	5,472	27,330	30,921	29,130
に指定 用係る 等管理 費						
備考	約3年半の改修工事を経て、令和4年4月21日にリニューアルオープン。4年度前半は事前予約制としていたが、その後混雑が予想される期間のみ予約制とするなど徐々に制限を緩和し、5年度大型連休以降は予約制を行っていない。子どもプールは令和6年6月、老朽化により廃止を決定した。					

Ⅲ 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	給与関係費	80,743	87,039	6,296	地方税等	0	0	0
	物件費	481,981	598,693	116,712	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	9,922	7,824	▲ 2,098	都支出金	0	1,495	1,495
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3,215	5,869	2,654	使用料及び手数料	457,228	468,484	11,256
	減価償却費	266,670	266,765	95	その他	3,159	7,177	4,018
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	460,387	477,156	16,769
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,939	3,984	1,045	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 451,250	▲ 510,731	▲ 59,481
	その他行政費用	66,167	17,713	▲ 48,454	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	911,637	987,887	76,250	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 451,250	▲ 510,731	▲ 59,481
	特別費用(g)	22,500	0	▲ 22,500	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 22,500	0	22,500	当期収支差額(e)+(h)	▲ 473,750	▲ 510,731	▲ 36,981
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	2,939	3,984	1,045
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,939	3,984	1,045
	有形固定資産	7,154,907	6,917,881	▲ 237,026	その他の流動負債	0	0	0
	土地	3,492,523	3,492,523	0	固定負債	23,426	13,480	▲ 9,946
	建物	4,479,243	4,479,243	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 2,596,655	▲ 2,730,401	▲ 133,746	退職給与引当金	23,426	13,480	▲ 9,946
	工作物等	3,574,791	3,602,654	27,863	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,794,997	▲ 1,926,138	▲ 131,141	負債の部合計	26,365	17,464	▲ 8,901
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	7,136,755	6,906,753	▲ 230,002
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	7,136,755	6,906,753	▲ 230,002
	その他の固定資産	8,213	6,336	▲ 1,877	負債及び正味財産の部合計	7,163,120	6,924,217	▲ 238,903
	資産の部合計	7,163,120	6,924,217	▲ 238,903				

備考 行政費用について、物件費はサービス充実のための委託業務追加等により5年度増となっている。その他行政費用は主に4年度のイルミネーション設置に伴い発生していたため、5年度減となっている。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	67	51	54.5	57.6	
	施設1㎡当たりのコスト(円)	9,829	17,761	16,783	18,187	
	来園者1人当たりのコスト(円)	-	-	2,277	2,468	
	開園1日当たりコスト(円)	-	-	2,848,866	3,087,147	
	受益者負担比率(%)	1	1	50.2	47.4	
備考	平成30年12月から3年度まで休園し改修工事を行ったため、使用料収入がほとんどない一方で、工事費の支出や園内の維持管理費用が発生した。令和4年4月21日にリニューアルオープンし営業を再開している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: 荒川区実施計画)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	年間利用者数	目標値	—	—	500,000	500,000	500,000
		実績値	—	—	385,937	403,956	500,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	小さな子ども連れの子育て世代を中心に、安全に安心して楽しむことができる施設としてニーズが高い。						
現状・課題	○来園者に安全かつ安心に楽しんでいただけるよう、ハード、ソフト両面から安全第一の運営体制を維持していくことが重要である。 ○子どもから大人まで、幅広い世代の来園者が楽しく快適に過ごしていただけるよう、ホスピタリティ溢れるサービスの提供が求められている。 ○あらたな客層の取り込みや来園者のリピート率の向上など、中長期的な集客向上に向けた様々な取り組みを実施する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○各施設の安全点検の徹底をはじめ、区と各事業者間の連携を強化し、事故の未然防止に向けた意識向上を図る。 ○運営スタッフ一人一人が荒川遊園の顔であるという自覚を持ち、自ら考え行動できるようレベルアップに努める。 ○区、各事業者それぞれが持てる能力を生かして様々なアイデアを出し合い、イベントの実施等、年間を通して荒川遊園の魅力を引き出す取り組みを継続的に実施していく。						
議会、利用者等からの意見	【令和2年度9月会議】荒川区最大の魅力発信拠点に 【令和3年度9月会議】荒川遊園ならではの集客策を講じ、魅力向上を 【令和5年度6月会議】①D地区整備を促進すべき ②イルミネーションにBDFによる発電を活用すべき 【令和5年度2月会議】大人の層が魅力を感じる取り組みの強化を						

